

鉄道事業の旅客運賃改定申請が認可されました

叡山電鉄株式会社（本社：京都市左京区、社長：豊田秀明）では、2023年2月10日（金）、国土交通省近畿運輸局長あてに鉄道事業の旅客運賃上限変更認可申請を行いました。本日、認可されました。

つきましては、2023年4月1日（土）に運賃改定を実施いたします。

改定理由及び改定概要は以下の通りです。

1. 改定理由

近年における当社の年間輸送人員は、1996年度の8,014千人をピークに、周辺交通環境の変化や沿線の少子高齢化等により減少傾向となり2003年度には6,000千人まで落ち込みました。その後、積極的な旅客誘致やインバウンド需要の増加を受けて2019年度には7,670千人まで回復したものの、2020年度には新型コロナウイルス感染症流行や令和2年7月豪雨により鞍馬線貴船口駅付近で土砂災害が発生し、市原駅～鞍馬駅間が長期間運休となったこと等により、ピーク時の約4割減となる4,546千人まで大幅に減少しました。

このような状況下におきましても、輸送の最大の使命である安全・安心を確保するため、建築から90年を超えて老朽化した駅、橋梁、トンネル等の設備の改修やまくらぎ、レール、架線柱の更新工事等を計画的に進めることにより、安全性の向上を図ってまいりました。また、お客さまへのサービス向上の取り組みとして、全国相互利用対応の交通系ICカードシステムを導入したほか、新造から30年を超えた車両の順次改修、貴船口駅のバリアフリー化を実施する等、便利で快適な利用環境の提供に努めてまいりました。

その一方、旅客運賃の改定は、1995年4月以来28年間、消費税率引き上げに伴う改定を除き実施しておりません。この間、2両編成列車のワンマン運転化や担当業務の兼務を拡大することによる要員の削減、車両や設備の保守体制効率化等、様々な経営努力に取り組んだほか、展望列車「きらら」や観光列車「ひえい」等、乗ること自体が目的となる列車の運行や「もみじのトンネル」等自社観光資源を活用した積極的な旅客誘致等に努め現行の運賃水準を維持してまいりました。

今後につきましても、安全・安心な鉄道輸送を引き続き提供していくため、適切な投資と設備の更新を行っていく必要がありますが、昨今激甚化している自然災害への対応、エネルギー価格の高騰、今後も続くと思われる生産年齢人口減やテレワークの浸透による輸送人員の減少により、現行運賃のままでは今後の鉄道事業運営は困難であると考えております。

引き続き経営努力や各種施策の推進により、公共交通としての使命を果たしてまいりますので、どうかご理解賜りますようお願いいたします。



2. 改定の概要

(1) 鉄道事業の上限運賃認可制度について

鉄道事業の旅客運賃は、鉄道事業者の「上限運賃」を国土交通省が認可する「上限認可制」となっています。鉄道事業者は認可された上限運賃の範囲内で「実施運賃」（お客さまから実際に収受する運賃）を設定することができます。当社の現在の「実施運賃」は「上限運賃」と同額であり、認可後につきましても同額で設定いたします。

(2) 改定実施日

2023年4月1日（土）

(3) 改定する運賃

①普通旅客運賃（大人）

| 区 | 現行運賃 | 申請上限運賃 |
|---|------|--------|
| 1 | 210円 | 220円 |
| 2 | 270円 | 280円 |
| 3 | 340円 | 350円 |
| 4 | 380円 | 410円 |
| 5 | 430円 | 470円 |

②定期旅客運賃（通勤・通学／1か月）

| キロ程 | 通勤定期 (大人1か月) | | 通学定期 (大人1か月) | |
|-----|-----------------|---------|-----------------|--------|
| | 現行運賃 | 申請上限運賃 | 現行運賃 | 申請上限運賃 |
| 1 | 5,450円 | 5,750円 | 3,450円 | 3,620円 |
| 2 | 6,310円 | 6,660円 | 4,080円 | 4,290円 |
| 3 | 7,180円 | 7,570円 | 4,720円 | 4,960円 |
| 4 | 8,050円 | 8,480円 | 5,360円 | 5,630円 |
| 5 | 8,920円 | 9,390円 | 5,990円 | 6,300円 |
| 6 | 9,560円 | 10,060円 | 6,430円 | 6,760円 |
| 7 | 10,190円 | 10,730円 | 6,860円 | 7,220円 |
| 8 | 10,830円 | 11,400円 | 7,300円 | 7,680円 |
| 9 | 11,430円 | 12,040円 | 7,730円 | 8,120円 |
| 10 | 12,040円 | 12,680円 | 8,150円 | 8,560円 |
| 11 | 12,650円 | 13,320円 | 8,560円 | 9,000円 |
| 12 | 13,250円 | 13,960円 | 8,980円 | 9,440円 |
| 13 | 13,860円 | 14,600円 | 9,400円 | 9,880円 |



(4) 平均改定率

5.6%

内訳

(単位：%)

| 定期外運賃 | 定期運賃 | | | 合計 |
|-------|------|-----|-----|-----|
| | 通勤 | 通学 | 計 | |
| 5.7 | 5.4 | 5.2 | 5.3 | 5.6 |

(5) 定期旅客運賃の平均割引率

通勤 46.6% (現行 46.8%)

通学 65.0% (現行 65.5%)

3. 収支の実績および推定

(単位：千円、%)

| | 2021年度 (実績) | 2023~2025年度 (3年間平均) | |
|-----------------|----------------|---------------------|-----------|
| | | 現行 | 申請 |
| 収入 (A) | 1,071,855 | 1,342,468 | 1,413,386 |
| 支出 (B) | 1,167,599 | 1,403,337 | 1,402,166 |
| 配当所要額 (C) | 4,128 | 41,033 | 41,033 |
| 差引損益 | ▲99,872 | ▲101,903 | ▲29,813 |
| 収支率 A/(B+C)×100 | 91.5 | 92.9 | 97.9 |

4. 運賃収入内訳

(単位：千円)

| | 2021年度 (実績) | 2023~2025年度 (3年間平均) | |
|-----|----------------|---------------------|-----------|
| | | 現行 | 申請 |
| 定期外 | 636,514 | 995,825 | 1,053,009 |
| 定期 | 262,837 | 259,702 | 273,436 |
| 合計 | 899,351 | 1,255,527 | 1,326,445 |

5. 輸送人員の推移と今後の見通し

(単位：千人、%)

| | 2019年度 (実績) | 2020年度 (実績) | 2021年度 (実績) | 2022年度 (推定) | 2023年度 (推定) | 2024年度 (推定) | 2025年度 (推定) |
|-----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 定期外 | 4,418 | 2,250 | 2,775 | 3,732 | 3,989 | 4,254 | 4,527 |
| 定期 | 3,252 | 2,296 | 2,643 | 2,665 | 2,702 | 2,739 | 2,778 |
| 合計 | 7,670 | 4,546 | 5,418 | 6,397 | 6,690 | 6,993 | 7,304 |
| 前年比 | — | 59.3 | 119.2 | 118.1 | 104.6 | 104.5 | 104.5 |



6. 設備投資実績・計画

(1) 設備投資実績と計画

(単位：百万円)

| | 2019年度 (実績) | 2020年度 (実績) | 2021年度 (実績) | 2022年度 (計画) | 2023年度 (計画) | 2024年度 (計画) | 2025年度 (計画) |
|---------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 安全対策 | 515 | 251 | 48 | 163 | 292 | 241 | 256 |
| サービス改善 その他 | 19 | 9 | 38 | 75 | 39 | 18 | 0 |
| 合計 | 534 | 260 | 86 | 238 | 331 | 259 | 256 |

(2) 主要な設備投資の内容

鉄道事業で最も大切な、輸送の安全・安心を提供するため、計画的に設備投資を実施しており、これまでも車両の改修、バリアフリー化、ICカードシステムの導入等、お客さまへのサービス改善を実行してまいりました。

また、当社線は山沿いを走る区間が多くあり、自然災害によるリスクが高いため、防災対策に注力するほか、開業から90年を超えて老朽化した各種設備についても優先度を見極めながら更新を順次行ってまいります。

① 駅改良工事

2023年度に茶山駅（茶山・京都芸術大学駅に改称予定）へスロープを設置し、バリアフリー対応をいたします。

【投資額 131百万円】

② 駅務機器更新工事

老朽化した自動券売機や自動改札機、ICチャージ機を計画的に更新し、快適にご利用いただけるよう努めてまいります。

【投資額 112百万円】

③ 車両改修工事

製造から30年を超えた車両を順次改修し、長寿命化を図るとともに、台車の更新、スタンションポール新設、車いす・ベビーカースペースの設置、行先表示幕の多言語化等を実施しています。今後は2023年度に2両、2024年度と2025年度に各1両の改修を予定しています。

【投資額 457百万円】

④ 軌道改良工事

老朽化したレールを交換し重軌条化を図るほか、分岐器、道床、まくら木等を更新し、軌道の安全性を向上します。

【投資額 197百万円】

⑤ 信号設備関係工事

老朽化した連動装置、踏切保安装置、信号装置の機器を計画的に更新し、事故や故障の未然防止を図ります。

【投資額 70百万円】



⑥変電所機器更新

老朽化した山端変電所の受電設備を更新するとともに二重化を行い、故障による輸送障害を未然に防止します。

【投資額 100百万円】

7. これまでの経営合理化の状況および今後の取り組み

当社はこれまで鉄道事業の安定的な運営のために、列車のワンマン化やICカードの導入による乗務員、駅務員の最適化、従業員の多能工（マルチタスク）化、車両の一部検査の外注化による技術係員の人員配置の最適化を図ってまいりました。また、役員報酬の減額、契約の見直しや費用を削減する等の取り組みも継続して行っております。

今後も鉄道事業者の使命である輸送の安全を確保するため、費用は抑えながらも必要な設備投資を計画的に実施してまいります。

8. 運賃の多様化の内容（発売している主な企画乗車券）

当社沿線へお越しのお客さまの利便性向上を目的として、さまざまな企画乗車券を発売しています。

(1) 叡山電車1日乗車券「ええきっぷ」

叡山電車全線が1日乗り降り自由となる乗車券です。

(2) 京都一乗寺らーめん切符

叡山電車の1日乗車券と一乗寺界隈のラーメン店参加店舗のうち1店舗で対象のラーメンをお召し上がりいただけるラーメン券がセットになった乗車券です。

(3) 叡山電車・京阪電車1日観光チケット

叡山電車と京阪電車（京阪線、石清水八幡宮参道ケーブル線）の有効区間が1日乗り降り自由となる乗車券です。

(4) 比叡山フリーパス

比叡山エリアの乗りものと延暦寺の諸堂巡拝券がセットになった乗車券です。（毎年3月中旬から翌年1月3日まで発売）

9. お客さまサービスの向上策

(1) ICカードシステムの導入

2016年3月より、全国相互利用対応の交通系ICカードシステムを導入しています。また、株式会社スルッとKANSAIが提供するICカード決済サービス「PiTaPa」では、「利用額割引」「叡山電車登録型割引」の2種類の割引サービスを実施しています。

(2) 車両のリニューアル

2017年度より、老朽化した車両を順次改修しており、2023年度に2両、2024年度と2025年度に各1両の改修をする予定です。外装や内装を一新するとともに車いす・ベビーカースペースを設置し、どなたでも快適にご利用いただけるよう努めています。

(3) 駅施設のバリアフリー化

2020年3月に貴船口駅のホームを拡幅し、観光シーズン等の混雑緩和を図るとともに、エレベーター、多機能トイレ等を設置し、バリアフリーに配慮しました。今後も駅施設の更なるバリアフリー化を計画的に推進してまいります。



10. お問い合わせについて

(1) お客さまからの運賃等に関するお問い合わせ先

叡山電鉄株式会社 鉄道部運輸課（運輸担当）

TEL 075-781-5121（9時00分～17時00分）

(2) 情報サービスの案内

インターネットホームページ <https://eizandensha.co.jp>

以上

